

うめのかいよう病、
もものせん孔細菌病を
優れた抗菌力でしっかり防除。

殺菌剤

マイコシールド®

®は日本曹達(株)の登録商標です。



うめ かいよう病



もも せん孔細菌病



日本曹達株式会社



1 広範囲抗生物質テトラマイシンを高濃度で配合

広範囲抗生物質テトラマイシン(一般名：オキシテトラサイクリン)を31.5%の高濃度で処方した殺菌剤です。そのため、作物の病原細菌に対して、高い抗菌活性を示します。

2 うめ・ももの細菌病に対する高い防除効果

うめ、ももの細菌病に対しては、特に高い抗菌活性を示します。

■適用病害と使用方法 (抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキシテトラサイクリンを含む農薬の総使用回数
うめ	かいよう病	1500倍	200~700g /10a	収穫21日前まで	4回以内	散布	4回以内
もも	せん孔細菌病	1500~3000倍			5回以内		5回以内

■試験成績

うめ かいよう病に対する防除効果

1999年 和歌山県農林水産総合技術センター果樹試験場



防除価	87.8	76.9	—
-----	------	------	---

【試験概要】

発生状況：やや多発生
品 種：南高9年生
区 制：1区1樹 4連制(対照区は5反復)
散布日：4/1、4/12、4/22、5/3(計4回)
調査日：6/8

もも せん孔細菌病に対する防除効果

1981年 佐賀県果樹試験場



【試験概要】

発生状況：並
品 種：大久保5年生
区 制：1区4樹
散布日：5/7、6/10、6/18(計3回) 調査日：7/1
降雨日数と降水量：5/7~6/10(9日、135.5mm)
6/10~6/18(5日、51.5mm)
6/18~7/1(11日、468.5mm)

⚠効果・薬害等の注意事項

- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 石灰硫黄合剤との混用はさけてください。
- 散布直後の降雨は効果を減らすので、天候を見極めてから散布してください。
- もものせん孔細菌病に対しては、ときには葉先の黄化などの薬害を生じるので注意してください。
- きゅうりの種子消毒に対しては、播種前に種子を所定の浸漬時間及び希釈倍数で処理してください。
- うめに使用する場合、希釈倍数等使用方法を誤ると、葉の退緑斑、果皮の退緑化等の薬害を生じるので注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

⚠安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

■保管

- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

2025年2月現在の登録内容に基づいています。

製造



日本曹達株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目7番2号

販売



丸和バイオケミカル株式会社

■本 社 / 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-19-23
TEL03-5296-2314
■札 幌 / TEL011-222-1285 ■仙 台 / TEL022-261-1103
■名古屋 / TEL052-951-7234 ■大 阪 / TEL06-6484-6850
■福 岡 / TEL092-714-7101

https://www.mbc-g.co.jp

お問い合わせ窓口 / TEL 03-5962-9731 (9時~17時 土日祝を除く)